

市民アンケート調査票（素案）

・ご記入にあたって

太字枠＝必ず入れる設問

取消線＝今回変更や削除する方向の設問

①設問は、選択肢の中からお自分の
選ぶ「選択式」です。あてはまる

②設問によっては、1つではなく複数の選択肢を選んでいただく場合があります。

③設問によって、回答していただく方が限られる場合があります。

各設問の注意書きをよくご確認ください。

はじめに、あなたのことをお聞かせください。

①から⑥の項目ごとに1つずつ選んで番号に○をつけてください。

①性別※	1 男性 2 女性 3 その他 4 回答しない
②年齢（令和3年8月1日現在）	1 15歳～19歳 2 20歳～29歳 3 30歳～39歳 4 40歳～49歳 5 50歳～59歳 6 60歳～69歳 7 70歳～79歳
③働き方等	1 正社員・正職員 2 契約・派遣社員 3 パート・アルバイト 4 自営業 5 家事専業・無職 6 学生 7 その他
④結婚はしていますか	1 している（事実婚・パートナーシップを含む） 2 していない（離別・死別含む）
⑤中学生以下のお子さんはいですか	1 いる 2 いない
⑥同一世帯に介護が必要な家族（配偶者以外）は いますか	1 いる 2 いない

※統計上必要なため性別欄を設けています。また、多様性の視点から、選択肢に「回答しない」「その他」を設けています。身体上・戸籍上の性別に関わらず、ご自身が認識されているもの（性自認）に○をお願いします。

1 用語や制度の認知度

問1 次に掲げる用語や制度等を知っていましたか。それぞれ1つ選んでください。

	用語の意味も含めて知っていた。	聞いたことはあるが意味までは知らなかった	聞いたこともないし意味も知らなかった
(1) 男女共同参画	1	2	3
(2) ジェンダー (gender)	1	2	3
(3) ダイバーシティ (diversity)	1	2	3
(4) 持続可能な開発目標 (SDGs)	1	2	3
(5) ジェンダー・ギャップ指数	1	2	3
(6) 性的マイノリティ	1	2	3
(7) L G B T Q +	1	2	3
(8) S O G I	1	2	3
(9) アウティング	1	2	3
(10) パートナーシップ宣誓証明制度	1	2	3
(11) よこすかLGBTs相談	1	2	3

2 男女共同参画・ジェンダー平等（社会）

問2 わが国では、以下の各場面で男女の地位は平等になっていると思いますか。
男女は対等に活躍している、あるいは男女共同参画が進んでいると思いますか。
項目ごとにあなたの考えに最も近いものを1つずつ選んでください。

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
① 社会全体 社会全般の風潮	1	2	3	4
② 法律・制度での扱い	【選択肢の変更案】 1 男性の方が優遇されている 2 どちらかといえば男性の方が優遇されている 3 平等になっている 4 どちらかといえば女性の方が優遇されている 5 女性の方が優遇されている 6 わからない			
③ 政府や企業での重要な意思決定の場				
④ 学校生活などの教育の場 (学校教育・教育を受ける機会も含めて)				
⑤ 就職の機会、職場での働き方や処遇				
⑥ 家庭内での決定権や家事・育児の分担				
⑦ 町内会・自治会の活動				
⑧ PTAやボランティアなどの地域活動	1	2	3	4

⑨ テレビや新聞での扱われ方	1	2	3	4
⑩ 人生を決める選択肢や自由さ	1	2	3	4

問3 あなたの身のまわりで男女共同参画・ジェンダー平等は進んでいると思いますか。どちらか 1つ 選んでください。

- | | |
|----------|----------------|
| 1 進んでいる | ⇒問5以降へお進みください。 |
| 2 進んでいない | ⇒問4へお進みください。 |

(問4は、問3で「2 進んでいない」と回答した方だけお答えください)

問4 男女共同参画・ジェンダー平等がなかなか進まない理由として、あなたの考えに 最も近いものを1つ 選んでください。

- | |
|---|
| 1 人の役割を性別によって区別する考え方や慣習が根強いから |
| 2 女性は意思決定の場への進出が遅れていることで発言力が弱いから |
| 3 女性の役割は家庭内での家事、育児、介護などという考えが強いから |
| 4 社会全般に男性優位の考え方や慣習が根強いから |
| 5 女性は職業能力を高める機会や意思決定の場に出るための経験が不足しているから |
| 6 仕事と家庭の両立が図れる行政サービス、民間サービスが不足しているから |
| 7 その他() |

3 生活の中での男女共同参画・ジェンダー平等

問5 次のそれぞれについて、あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない
① 女性は子どもを産む／産まないを 選ぶ権利を持っている。	1	2	3	4
② 男性は外で仕事をし、女性は家庭を守る べきである。	1	2	3	4
③ 結婚したら夫の姓を名乗るべきである。	1	2	3	4
④ 男でも女でも必ずしも結婚する必要は ない。	1	2	3	4
⑤ 離婚に対してマイナスなイメージが ある。	1	2	3	4
⑥ 同性のカップルが養親や里親になっ てもよい。	1	2	3	4

(問6は、現在、結婚(事実婚を含む)している方だけお答えください)

問6 家事などは誰が日常的に担っていますか。また、理想ではどうしたいと考えていますか。①から⑩の項目ごとに1つずつ選んでください。

⑤から⑩は、該当しない場合(お子さんや介護・看護する方がいない場合)は(1)(2)とも「該当しない」を回答してください。

	(1) 現在の担い手							(2) 理想の担い手						
	夫と妻で 分担協力	主に妻	主に夫	夫と妻以外 の家族	外部サ ービスを利用	その他	該当 しない	夫と妻で 分担協力	主に妻	主に夫	夫と妻以外 の家族	外部サ ービスを利用	その他	該当 しない
①炊事	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
②洗濯	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
③掃除	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
④日常の買い物 (食料品、日用品など)	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
⑤子どもの身のまわりの 世話	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
⑥子どものしつけ	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
⑦保育園・幼稚園、習 い事などの送迎	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

⑧子どもと遊ぶ、勉強などを教える	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
⑨高齢者や障害者、病人の介護・看護	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
⑩地域活動 (自治会、PTAなど)	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

問7 家庭での子どもの教育やしつけについて、あなたの考えに最も近いものを項目ごとに1つずつ選んでください。

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
①職業や結婚などの人生設計に対する助言は性別により区別すべきである	1	2	3	4
②男の子は男らしく強く、女の子は女らしく心優しく育てるべきである	1	2	3	4
③食事の支度や洗濯など日常的な家事は性別を問わず、身に付けさせるべきである	1	2	3	4
④家庭での子どものしつけや教育は母親の責任で行うべきである	1	2	3	4

問8 あなたが介護・看護を受けるとしたら、主に誰に世話をしてほしいですか。
1つ選んでください。

- | | | |
|---|-------|----------|
| 1 配偶者（夫または妻） | 2 実の娘 | 3 実の息子 |
| 4 息子の妻 | 5 娘の夫 | 6 その他の家族 |
| 7 在宅介護サービスを利用する 8 施設に入所する 9 その他（ ） | | |

4 女性の職業生活における活躍の推進

問9 (1) 女性と職業について、あなたの考えに近いものを下の1～7の中から1つだけ選び、数字を選択してください。(全員、お答えください)

- 1 生涯にわたり、職業を持ち続けるのがよい
- 2 子供が生まれたらいったん職を辞め、子供が成長した後再び職業に就くのがよい
- 3 子供が生まれるまでは職業につき、子供が生まれた後は家事や育児に専念するのがよい
- 4 結婚するまでは職業について、結婚した後は家事に専念するのがよい
- 5 女性は職業にでない方がよい
- 6 その他
- 7 特に考えはない

~~女性の(1)現在の働き方(2)理想の働き方について、あなたの考えに最も近いものをそれぞれ1つずつ選んでください。~~

~~※女性はご自身について、男性は妻(事実婚を含む)の働き方についてお答えください。~~

~~※妻がいない男性は、(2)理想の働き方のみお答えください。~~

(2) 女性の現在の働き方について、1つ選んでください。

(女性 および 妻がいる男性のみ、お答えください)

- 1 働いている(今後も勤務条件等を変えない予定)※
- 2 働いている(結婚や子育てを機に短時間勤務や勤務日を減らす予定)※
- 3 結婚までは働き、結婚を機に仕事を辞めている
- 4 子どもができるまで働き、出産を機に仕事を辞めている
- 5 子育ての時期に一時仕事を辞め、その後は働いていない
- 6 職業を持っておらず、家事に専念している
- 7 学生である
- 8 その他()

※産前産後休暇と育児休業を取る場合を含む

~~(全員、お答えください)~~

~~(2) 女性の理想の働き方~~

- ~~1 ずっと働く(勤務条件等を変えない)※~~
- ~~2 ずっと働く(結婚や子育てを機に短時間勤務や勤務日を減らす)※~~
- ~~3 結婚までは働き、結婚を機に仕事を辞める~~
- ~~4 子どもができるまで働き、出産を機に仕事を辞める~~
- ~~5 子育ての時期に一時仕事を辞め、その後は働く~~
- ~~6 ずっと職業を持たず、家事に専念する~~
- ~~7 その他()~~

※産前産後休暇と育児休業を取る場合を含む

問10 女性が長く働き続けることを希望する場合には、どのようなことが特に重要だと思いますか。あてはまる番号を3つまで選んでください。

- 1 賃金・昇給・昇進・昇格等の男女間の格差解消
- 2 育児・介護休業制度等の充実
- 3 フレックスタイム※・オンライン・テレワーク・在宅勤務など柔軟な勤務形態の導入
- 4 保育サービス（早朝・延長・休日・夜間・病後児・乳児保育等）の整備の充実
- 5 介護サービス・施設等の整備の充実
- 6 結婚・出産・育児・介護等のために退職した社員の再雇用制度の充実
- 7 女性が働くことに対する家族や周囲の理解と協力
- 8 女性自身の自覚、意欲・能力の向上
- 9 男性の意識の変化
- 10 その他（ ）
- 11 特にない
- 12 わからない

※フレックスタイム：総労働時間だけを決め、出退勤の時刻は労働者の自由に任せる制度。

問11 政治、経済、地域社会において、重要な決定を行う話し合いの場に女性の割合を増やそうとする取り組みが進められています。次の①～④について、あなたの考えに最も近いもの項目ごとに1つ選んでください。

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
①国会議員や地方議会議員で、女性の割合がもっと高くなってほしい。	1	2	3	4
②各官庁や県、市などの行政組織における意思決定をする役職で、女性の割合がもっと高くなってほしい。	1	2	3	4
③民間企業における意思決定をする役職で、女性の割合がもっと高くなってほしい。	1	2	3	4
④町内会・自治会や学校のPTAにおける意思決定をする役職で、女性の割合がもっと高くなってほしい。	1	2	3	4

5 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）

問 12 性別を問わず仕事と生活を両立できるようにする公的な取り組みとして、あなたが最も重要だと思うものを1つ選んでください。

- 1 社会全体に対する意識づくり
- 2 職場における差別禁止のための制度の強化
- 3 両立支援のための制度の強化
- 4 企業、事業所に対する環境整備の働きかけ
- 5 出産や育児、介護等に関するサービスの充実
- 6 就職や復職、起業に対する支援
- 7 その他（ ）

問 13 育児や介護を行うために、あなたが育児休業・看護休暇・介護休業・介護休暇を取ったことがありますか。①から④の項目ごとに1つずつ選んでください。また、最近 10 年以内に育児休業を取得したことがある方のみ、取得期間をご記入ください。

	ある	ない
①育児休業（原則として、1歳未満の子を養育するための休業）	1	2
②看護休暇（小学校就学前の子の看護のための休暇）	1	2
③介護休業（要介護状態にある家族を介護するための休業）	1	2
④介護休暇（要介護状態にある家族を短期に介護するための休暇）	1	2

—（最近 10 年以内に育児休業を取得したことがある方のみお答えください）—

—最近 10 年以内に、育児休業を取得した期間をご記入ください。複数回取得された場合は、直近の取得期間についてご記入ください。—

—育児休業を取得した期間— 日間・週間・カ月間・年間

—（期間の単位のどれかに○を付けてください）—

6 男性の育児や介護の参画

問 14 男性が育児休業や介護休業などを取ることにについて、あなたの考えに最も近いものを、①～④の項目ごとに1つずつ選んでください。

	積極的に 取るべき	どちらかといえば、 取る方がよい	どちらかといえば、 取らない方がよい	取るべきではない
①育児休業	1	2	3	4
②看護休暇	1	2	3	4
③介護休業	1	2	3	4
④介護休暇	1	2	3	4

問 15 育児休業や介護休業を取る男性は、女性に比べて少ないのが現状です。
その理由について、あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

- 1 職場の理解を得られないから
- 2 職場の同僚に申し訳ないと思うから
- 3 昇進や昇給に影響する恐れがあるから
- 4 休業後の職場復帰に不安があるから
- 5 仕事の量が多いから
- 6 仕事の責任が重いから
- 7 休業中は収入が少なくなり、家計を維持できないから
- 8 女性の方が育児や介護に向いているから
- 9 その他 ()

問16 今後、性別を問わず家事、子育て、介護、地域活動などに積極的に関わって
いくために、最も必要だと思うものを1つ選んでください。

- 1 職場において家庭生活や地域活動に関わりしやすい雰囲気をつくる
- 2 労働時間短縮や休暇を取りやすくすることで、仕事以外の時間を多く持てるようにする
- 3 男性自身の家庭生活や地域活動に関わることにに対する抵抗感をなくす
- 4 社会の中で、男性が家庭生活や地域活動に関わることにに対する評価を高める
- 5 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよく図る
- 6 男性は積極的に関わる必要はない
- 7 早い時期（中学、高校）での教育
- 8 その他 ()

6 健康支援の推進

(女性のみ、お答えください)

問● 女性特有のがん検診（乳がん検診、子宮頸がん検診）を過去●年で受診して
いますか。どちらか1つ選んでください。

- 1 受診している
- 2 受診していない

7 様々な困難を抱える人への支援

問● デュオよこすか「女性のための相談室」を知っていますか？

- 1 知っている
- 2 知らない

8 性別等に基づく人権侵害（DV※、ハラスメント等）

問 17 「人権が侵害されている」とあなたが感じるのはどのような場合ですか。
あてはまるものをすべて選んでください。

- | | | |
|--------------------------------|------------------|-----------|
| 1 買春・売春・援助交際 | 2 性風俗店 | 3 ストーカー行為 |
| 4 夫や恋人からの暴力 | 5 レイプ | 6 痴漢 |
| 7 雑誌や広告のヌード写真 | 8 職場や学校、地域でのセクハラ | |
| 9 ミス・ミスターコンテスト | 10 職場での男性との待遇の差 | |
| 11 家事負担が女性にかたよっていること | | |
| 12 「婦人」「未亡人」「女流」など女性にだけ用いられる言葉 | | |
| 13 スポーツ競技の性的画像 | | |
| 14 その他（ ） | | |

※DV（ドメスティック・バイオレンス）

配偶者や恋人などの親密な関係にある、またはあった者から振るわれる暴力のことです。「配偶者」には、婚姻の届けを出していない事実婚も含みます。

問 18 最近5年以内に、職場や学校、地域などで、①から⑧の行為をされて
あなた自身が不快な思いをした、または家族や友人で不快な思いをした人を
知っていますか。それぞれ1つずつ選んでください

	自分自身として		自分以外のこととして	
	あ	る	知っている	知らない
①不必要に体を触られた	1	2	3	4
②交際や性的関係を迫られた	1	2	3	4
③交際や性的関係を拒否した人から不当な扱いや嫌がらせをされた	1	2	3	4
④宴会でお酌やデュエットを強要された	1	2	3	4
⑤性的なうわさを流された	1	2	3	4
⑥年齢や容姿のことで不愉快な意見や冗談を言われた	1	2	3	4
⑦異性との交際関係や結婚、出産についてたびたび聞かれた	1	2	3	4
⑧性的な冗談や会話につきあわされた	1	2	3	4

問 19 セクハラをなくすためにはどのような取り組みが必要だと思いますか。
あなたが最も重要だと思うものを1つ選んでください。

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1 公的機関の相談や指導の強化 | 2 民間ボランティア団体等のチェックや相談 |
| 3 事業所内でのチェックや相談 | 4 セクハラを禁止する法律や条例などの強化 |
| 5 セクハラは人権侵害だという社会意識づくり | 6 その他（ ） |

問 20 ~~配偶者や恋人など親しい間柄における暴力(DV)は、一般社会における暴力と同様の加害行為であると思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。~~

- ~~1 そう思う~~
- ~~2 どちらかというと思う~~
- ~~3 どちらかというと思わない~~
- ~~4 そう思わない~~

問 21 配偶者や恋人など親しい間柄における暴力（DV）について、相談できる機関としてあなたが知っているものをすべて選んでください。

- | | | |
|------------------|----------------|-----------------|
| 1 警察 | 2 市役所 | 3 配偶者暴力相談支援センター |
| 4 かながわ男女共同参画センター | 5 民間支援団体 | |
| 6 法務局（人権擁護委員） | 7 相談できる機関を知らない | |

問 22 配偶者や恋人など親しい間柄における暴力（DV）に対する対策や支援として特に重要だと思う取り組みはなんだと思いますか。あてはまるものを3つまで選んでください。

- 1 家庭内であれ暴力は犯罪であるという意識の啓発
- 2 いざという時に駆け込める緊急避難場所の整備
- 3 緊急時の相談体制の充実
- 4 住居や就労斡旋、経済的援助など、生活支援の充実
- 5 カウンセリングや日常的な相談など、精神的援助の充実
- 6 関係機関やスタッフの充実
- 7 関係機関の紹介や暴力への対応方法など、さまざまな情報の提供
- 8 離婚調停への支援など、法的なサポートの充実
- 9 加害者に対する厳正な対処
- 10 カウンセリングなど、加害者の更正に関する対策の充実
- 11 裁判所、病院、住居探し等への同行支援
- 12 その他（)
- 13 わからない

9 多様な性・性的マイノリティ (LGBTQ+)

※前回の問23の性的マイノリティに関する言葉の認知度の項目は、先頭に移動しました。

問24 あなたは今までに自分の身体の性、心の性または性的指向に悩んだことがありますか。また、友人・知人等から、同様の相談を受けたことがありますか。それぞれ1つ選んでください。

	悩んだことがある	悩んだことがない
①自分自身	1	2
	相談を受けたことがある	相談を受けたことがない
②自分以外	1	2

問25 現在、性的マイノリティ（またはLGBT）の方々にとって、偏見や差別などにより、生活しづらい社会だと思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

- 1 そう思う
- 2 どちらかと言えばそう思う
- 3 どちらかと言えばそう思わない
- 4 そう思わない

問26 性的マイノリティの方々に対する偏見や差別をなくし、性的マイノリティの方々も生活しやすくなるためにどのような対策が必要だと思いますか。
あてはまるものを2つまで選んでください。

- 1 行政が市民等へ周知啓発を行う
- 2 相談窓口等を充実させ、その存在を周知する
- 3 生徒や市民への対応を想定し、小中高などの学校教員や行政職員への研修等を行う
- 4 法律等に、性的マイノリティの方々への偏見や差別解消への取り組みを明記する
- 5 当事者や支援団体、行政等を交えた連絡、意見交換を行う
- 6 働きやすい職場環境づくりの取り組みをする
- 7 わからない
- 8 その他（ ）

問27 あなたの身の回りに性的マイノリティの方はいますか？（複数回答可）

- 1 家族や親族にいる
- 2 友人や知人にいる
- 3 学校や職場にいる
- 4 街などで見かけたことがある
- 5 周囲にはいない（知らない）
- 6 その他（ ）

問28 身の回りに性的マイノリティの方がいたらどう思うかあなたの考えに近いものを1つ選んでください。

- 1 もし困っていたらサポートしたいと思う
- 2 特になんとも思わない
- 3 なんとなく嫌だ
- 4 嫌だ

【選択肢の表現の検討】

選択肢の表現について、変更を検討しています。

10 男女共同参画・ジェンダー平等推進のために必要な取組み

問29 男女共同参画社会をつくるために、あなたが最も必要だと思うことを①から④の項目ごとに選んでください。

①個人で心掛けること（1つ選んでください）

- 1 「男らしく」「女らしく」ということにとらわれず、「自分らしく」行動する
- 2 男女ともに独立した人格としての自覚と責任意識を高める
- 3 性別に関する偏見や先入観を持たないように心掛ける
- 4 男女が互いに対等な存在として評価・尊重する意識を持つ
- 5 その他（ ）

②家庭での取り組み（1つ選んでください）

- 1 夫婦の関係が対等であるように努力する
- 2 家事、育児、介護は男女を問わず分担し、協力する
- 3 家事や育児の重要性を正當に評価する
- 4 「嫁・姑」「後継ぎ」「墓」「氏」など、家系を中心にした家族観や慣習を改める
- 5 子育てにおいて、性別によって教育やしつけの方針、態度を区別しない
- 6 その他（ ）

③社会全体での取り組み（1つ選んでください）

- 1 性別を理由にした差別的待遇を禁止・撤廃する法律を強化する
- 2 性別に関わらず自分の人生を決められるよう、偏見や先入観を排除する
- 3 テレビや新聞、雑誌などで性別による固定的な役割分担に基づいた男女の扱いをしない
- 4 性的な興味の対象として、人を扱わない
- 5 社会活動や政治に、女性がより参画できるような仕組みを作る
- 6 社会活動や政治に女性を積極的に登用し、発言力を高める
- 7 その他（ ）

④横須賀市における取り組み（2つまで選んでください）

- 1 学校教育における男女共同参画教育を進める
- 2 男女共同参画の意識を高めるための情報提供（冊子など）や学習の場（講座など）を充実する
- 3 事業所（会社など）に対して職場における男女格差の是正を働きかける
- 4 事業所（会社など）に対して仕事と家庭を両立しやすい労働条件の整備・改善を働きかける
- 5 多様な保育サービスを充実する
- 6 介護施設、介護サービスを充実する
- 7 女性を対象とした各種相談やDV被害から救済するための体制を充実する
- 8 ひとり親世帯の生活を安定させるための支援を充実する
- 9 男性も女性も地域で活動し、地域とのつながりをつくれるように支援する
- 10 夫婦がともに関わることができる家事・育児や介護に関する学習の場（講座など）を充実する
- 11 市役所の責任ある立場に女性を積極的に登用する
- 12 市の施策に関する審議等を行う場に女性の参画を進める
- 13 市役所が率先して模範となることで、男女共同参画の職場づくりを働きかける
- 14 女性の能力・技術を高め、チャレンジをうながすための支援を充実する
- 15 性別に関する人権侵害をチェックし、是正するための制度を充実する
- 16 男女共同参画推進を目的とした市民活動を支援する
- 17 その他（ ）

問 30 ~~男女共同参画社会を実現していくために、あなたはどんなことができると思いますか。~~

自由記入解答欄

1 1 新型コロナウイルス禍における影響

問 31 コロナ禍前と現在とを比較し、新型コロナウイルスの影響によりあなたやあなたのまわりでどのような変化が起きましたか。「好ましい変化があったもの」「好ましくない変化があったもの」「変化がなかったもの」をそれぞれ次の選択肢から1つ選び、また、最も変化があったものの番号をそれぞれお書きください。

	好ましい変化があった。	好ましくない変化があった。	変化はなかった。
①自分や家族の働き方について（雇用形態、就業時間、在宅勤務、仕事内容の変化など）	1	2	3
②自分の生活や行動面について（家事、育児、学習、趣味など）	1	2	3
③配偶者・パートナーとの関係について	1	2	3
④家族（配偶者・パートナーを除く）との関係について	1	2	3
⑤友人・知人との交友関係について	1	2	3
⑥職場環境や学校活動について	1	2	3
⑦自分自身や世帯（家族）の収入、経済面について	1	2	3
⑧自分自身や家族の健康面について	1	2	3

最も好ましい変化があったもの・好ましくない変化があったものの、上の番号①～⑧を1つずつ選んでお書きください。

最も好ましい変化があったもの	具体的には→（番号を記入）
最も好ましくない変化があったもの	具体的には→（番号を記入）

1 1 アンケート全般

問 32 その他、ご意見等がありましたらご記入ください。

自由記入解答欄

質問は以上です。ご協力ありがとうございました

※ご記入がおわりましたら、同封の返信用封筒にて8月31日までに投函してください。